

主催：一般社団法人信州産学みらい共創会／公立諏訪東京理科大学

公立諏訪東京理科大学 研究室紹介2026

公立諏訪東京理科大学と信州産学みらい共創会は共催で、公立諏訪東京理科大学の教員の研究内容を紹介する研究室紹介を実施します。

2026年度は地域連携研究開発機構の

「AI・データサイエンス研究部門」から3つの研究室の紹介と4研究室のポスターセッションを行います。

申込はこちらから



2026年9月25日(金)
13:30～17:00

定員：50名 参加費：無料

場 所

公立諏訪東京理科大学 432教室（茅野市豊平5000-1）

スケジュール

- 13:30 開会
13:30～13:45 オープニング
13:45～14:15 大学紹介
公立諏訪東京理科大学 学長 天野良彦
「地域連携・企業連携の取り組み」
14:15～15:30 研究室紹介
①ゴータム研究室
「AI技術を用いた野生動物被害抑制と
植物健康診断を統合したスマート農業支援システムの研究」
②石井研究室
「医療・社会・環境をつなぐ次世代AI・データサイエンス研究」
③橋本研究室
「人間を主役とする協調型AIを実現する行動モデリングと支援技術」
15:40～16:40 ポスターセッション
①ゴータム研究室／②石井研究室／③橋本研究室／水野研究室
※研究室の学生がご説明します。
※気軽に交流できるようコーヒーを用意しています。
16:40～16:50 クロージング

問合せ

一般社団法人 信州産学みらい共創会 事務局
TEL：026-269-5384／FAX：026-269-5731
E-mail：info@kyosokai.or.jp

公立諏訪東京理科大学 地域連携・研究支援課
TEL：0266-73-1345／FAX：0266-73-1231
E-mail：sangaku@admin.sus.ac.jp

地域課題・企業課題を解決する
諏訪理科大の
AI・データサイエンス研究



【講師紹介】

大学紹介

	天野 良彦 学長	
	研究分野：生物化学 キーワード：酵素, 担子菌, セルロース, セルラーゼ, 酸化還元酵素, ソルガム	
	1982年	信州大学, 工学部 卒業
	1984年	信州大学, 工学研究科 修了
	1998年～1999年	テキサス大学オースチン校植物学科
	2002年～2002年	カリフォルニア大学デービス校
	2005年	信州大学工学部教授
	2010年～2014年	信州大学内地域共同研究センター長
	2014年～2018年	同大学評議員
	2018年～2024年	同大学工学部長 兼 工学系長
	2023年～	公立諏訪東京理科大学評価委員
	2026年～	現職

研究室紹介&ポスターセッション

	ゴータム・ビスヌ 教授 工学部 情報応用工学科 / AI・データサイエンス研究部門 部門長	
	研究分野：情報ネットワーク、説明可能なAI技術、Smart Agri-Techなど	
	プロフィール：信州大学, 大学院工学系研究科(修士)、信州大学大学院, 大学院総合工学系研究科 (博士 (工学))	
	【研究テーマ】 本研究室では、Smart Agri-Tech研究の一環として、AIによる個体認識とロボット技術を活用した野生動物被害抑制技術 (WildGuardAI Technology)、植物健康診断システム (LeafSensePAI)、センサ情報に基づいて適切な水分を供給する紐式スマート灌水システム (SEGIS) を開発しています。これらの技術を通じて、農作業の省力化と地域農業の持続可能性向上を目指しています。今後は、地域農家、自治体および企業との連携により、実環境での検証と社会実装を推進します。	

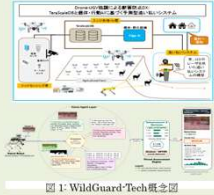
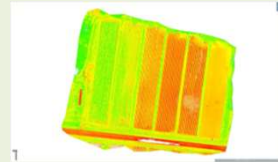


図 1: WildGuard-Tech 概略図

	石井 一夫 教授 工学部 情報応用工学科	
	研究分野：ビッグデータ解析, 人工知能, 機械学習, 医療・健康データ解析, 因果推論, データサイエンス	
	プロフィール：静岡薬大院修了, 東大学医科研, 理化学研究所, 仏国国立CNG, 米国ノースウェスタン大学を経て現職	
	【研究テーマ】 本研究室では、医療・健康、環境、農業、社会などの大規模データを活用し、人工知能・機械学習・統計解析による課題発見、将来予測、意思決定支援の研究を行っています。 【技術内容】 医療ビッグデータ、画像、健診、農業・環境データを対象に、機械学習、深層学習、因果推論、時系列解析を行っています。既存データの活用からAI・予測モデルの構築まで、企業や自治体の実際の課題に応じた共同研究を進めています。	

ドローン撮影による
農作物の成長評価



	橋本 幸二郎 准教授 工学部 情報応用工学科	
	研究分野：人間機械協調システム, 機械学習, 画像映像処理, 知能ロボティクス	
	プロフィール：名古屋大学修了, 熊本高等専門学校を経て, 公立諏訪東京理科大学	
	研究室のテーマコンセプトは、「人間とAIの共存」です。人間を主役とし、その活動を支える支援AIの開発に取り組んでいます。AIが人間に対して協調的な動作を生成するためには、「環境と人間の計測技術」、「人間の行動を理解する行動モデリング技術」、「パフォーマンスを向上させる支援技術」の3つが不可欠となります。特定の領域に閉じない共通基盤技術として開発しており、かつ自動車、スポーツ、観光、医療等、様々な分野への応用を試みています。 本発表では、自動車の運転行動やパーソナルモビリティの遠隔操縦を題材に、研究室で開発している要素技術を紹介します。	



ポスターセッション

	水野 秀之 教授 工学部 情報応用工学科	
	研究分野：知能情報処理、音声言語処理	
	プロフィール：名古屋大学修了, NTTを経て、現在公立諏訪東京理科大学勤務	
	音声、音楽、映像、テキストなどの多様な情報を対象として、人工知能 (AI) や機械学習を用いて有用な特徴や知識を抽出し、人間の生活や活動を支援する知能情報処理技術の研究を進めています。特に、音声による高齢者への効果的な情報伝達など、人に寄り添う情報サービスの実現にも取り組んでいます。 今回は、高齢者の歩行動作とフレイル (虚弱) との関係について分析した研究と、AIを活用して植物防御活性化剤候補を効率的に探索するAI創薬技術の研究について紹介します。	